



弥生小だより

やさしい子 よく学ぶ子 いつも元気な子

令和8年度 7月

第4号

1 学期もあと少し！

校花のアジサイも青やピンクの花を咲かせ、空は濃淡のない灰色の曇り空。梅雨の天気が続きますが、もう7月に入ってしまいます。1学期の登校日も13日となりました。あっという間の1学期だったのではないのでしょうか。入学式、運動会、オープンスクールなども子どもたちは元気に過ごし、笑顔いっぱいに学校生活を楽しんでいました。

特に1年生は小学校生活に慣れて、グングンと音が聞こえるくらい成長したと思います。2年生は、弥生小の4つの柱である「聴く」「並べる」を中心に1年生のお手本になるよう頑張っている姿を見ることができました。3年生は学校で1番最初のプール学習で頑張っていました。4年生は弥生祭りに向けての学習に一生懸命に取り組み、みんなをどう盛り上げていくかをしっかりと話し合っていました。5年生はとっても落ち着いて日々の学習に取り組んでいます。先日調べ学習の発表もしっかりと調べたことを自信をもって発表している姿が素晴らしかったです。そして6年生。さすが最高学年！委員会もにこにこ遊びもリーダーとしてしっかりと行動していました。本当に頼れる6年生で、他学年からのあこがれになっています。



オープンスクール、お越しいただきありがとうございました！

6月10日(木)にオープンスクールを行いました。多くの保護者の方にお越しいただき、子どもたちも普段の学校での様子を見てもらおうと、朝からニコニコで張り切っていました。また趣向を凝らした授業や給食・掃除の時間の様子も見ていただき、子どもたちの1日を知ってもらえたのではないのでしょうか。

地域の方々も参観いただきました。子どもたちが元気に過ごしている様子にエネルギーをもらったとご評価いただきました。今後も子どもたちが楽しく笑顔で過ごせる弥生小学校にしていきます。



4年生 クリーンセンター出前授業

《お知らせとお願い》

●7月9・10・13日に個人懇談を予定しています。その間、下校時刻は、13:30となります。お子さんの1学期の様子や成長等について、学校と家庭の情報交換・意見交流の場となればと思います。限られた時間ではございますが、どうぞよろしくお願いいたします。

●今年度も8月13日～15日の間、閉庁日で学校休校となります。ご理解・ご協力をお願いします。



日	曜	学校行事	給食	日	曜	学校行事	給食
1	水	定時退勤日	○	17	金	終業式 3校時（11:45）下校 一斉終会	—
2	木	学校司書	○	18	土	休業日	
3	金	外国語S	○	19	日	休日	
4	土	休業日		20	月	海の日	
5	日	休日		21	火	夏季休業日（～8／27）	—
6	月	全校朝会 一斉終会14:15 ／一会議デー	○	22	水		—
7	火	5校時（14:30）下校 学校司書 ALT	○	23	木		—
8	水	5校時（14:30）下校 定時退勤日	○	24	金		—
9	木	個人懇談① 4校時（13:30）下校 SC 学校司書	○	25	土	休業日	
10	金	個人懇談② 4校時（13:30）下校 外国語S	○	26	日	休日	
11	土	休業日		27	月		—
12	日	休日		28	火		—
13	月	やよいタイム① 個人懇談③ 4校時 （13:30）下校	○	29	水		—
14	火	大掃除 5校時（14:30）下校 学校司書 ALT	○	30	木		—
15	水	給食最終日 4校時（13:30）下校 自然学校説明会（5年）16:00 安全点検の日 定時退勤日	○	31	金	富士中校区児童生徒交流会（計画委員）	—
16	木	地区児童会 3校時（11:45）下校 学校司書	—				

<8・9月の主な行事予定>

8/28(金)始業式 11:45下校 8/31(月)11:45下校 9/1(火)給食開始 13:30下校 9/2(木)～4日(金)14:30下校
9/8(火)人権参観日・講演会 9/17(木)職員研修日 14:15下校 9/24(金)～28日(火)自然学校(5年)
9/29(水)～30日(木)代休日(5年) 9/30(木)市内めぐり(3年)

夏到来！熱中症予防対策を！

○水分を補給する

学校ではこまめな水分補給をするよう声かけします。お茶を多めに持たせてください。のどが渇く前から、こまめにお茶や水などで水分補給しましょう。

○帽子を被る

直射日光を避けるため帽子を着用させてください。登下校時や屋外の授業、外遊び等帽子をかぶります。服装も軽装で、素材も吸湿性や通気性のよいものを着用願います。

○汗をこまめに拭く

汗をこまめに拭くように促します。汗拭きタオルを持たせてください。タオルを水で濡らして首や手足を拭いたり、アイスタオルやアイスパックで首周りを冷やしたりする等、体調に合わせて使用してください。



「大切なもの…」 (校長の独り言)

6/12 から開催されたワールドカップサッカー。各地区を勝ち抜いてきたチームが国の威信をかけて、名誉にかけて優勝を目指す戦い。ニュースで流れる少しの映像でも、目を見張る、心が沸き立つ素晴らしいゴール！世界のトッププレイヤーのパフォーマンスは本当にすごいなと感心するばかりです。またアメリカの大リーグでは大谷選手の二刀流や村上選手、岡本選手のホームランなど野球でも素晴らしい活躍を見ることができます。

ゴール、ホームラン…本当に素晴らしく、派手なパフォーマンスで、そればかりに注目が集まりますが、その裏には「**見えないもの**」があるのです。



本当に大切なものは見えない

昔、幼稚園の園長先生がお話ししてくれたことです。

子どもたちにケーキを買ってきました。子どもたちはケーキに目を輝かせてうれしそうな笑顔を浮かべていました。お母さんが笑顔の子どもたちの前でケーキを切り分けました。するとさっきまで笑顔だった子どもたちがケンカを始めたのです。その原因は「**少しでも大きいケーキをどちらが食べるか**」「**どちらが先に選ぶのか**」で、「前は僕が後だったから先に選ばせろ…」「まだ宿題やってないだろ？僕はちゃんとやったから、僕が先…」、年上だから…年下だから…どんどん悪口に発展し、そのうち手が出る状況に…せっかく子どもたちの喜ぶ顔が見たくて買ってきたケーキがケンカのもとに…

ほんの少し「大きい」「小さい」…**見えていると比べてしまって**争うことに発展することもある…。皆さんの身の回りに同じようなことはありませんか？この子どもたちは大切な…母の気持ち「**見えないもの**」に気づけなかったのです。人間はこれまでの歴史を振り返っても、領土やお金…「多い」や「少ない」、「大きい」「小さい」と「**見えるもの**」を比べて争いをしてきました。しかし、本当に「**大切なもの**」…例えば「空気」は見えません。空気を奪い合ったりすることはありません。生き物にとって空気がなければ生きていけません。「生きる」ことに最も大切なもの「空気」は見えません。



この子どもたちもケーキを目の前にして本当に大切にしなければならなかったもの…「母の気持ち」を分かるようになってもらいたいですね。私たちは、一人では生きていけません。人と人が支え合って**生きていくために大切な「気持ち」**…本当に**大切なものは見えないもの**です。見えない気持ちを大切にしたいですね。

と、語ってくださいました。もう 20 年以上前の話ですが未だに心に残っています。

テストの点数って、何になるねん!?

中学 1 年生になった娘が中間テストの結果につぶやいた…。思っていた以上に点数を取れなかったことと姉の点数の方がよかったことに対しての発言だった。テスト期間中、本人なりに頑張っている様子は見られました。姉はテスト勉強しながらも、スマホをいじっている姿もよく見かけた。自分はスマホに触らず、一生懸命に勉強していたはずなのに、「なぜ？」姉の方が点数が高いのか？

と、かなり悔しがり涙していました。初めてのテストだったので、本人も緊張し、小学校とは違うテスト方式で戸惑うこともあったと思いますが、実力を発揮できなかったようで、かなり落ち込んでいました。

そんな時「**ハイキュー**」というバレーボール部のアニメの一場面を見た。高校総体の県予選で負けてしまい主人公の二人が座り込んで動けないところに顧問の先生がやってきて二人に声をかけるのです。

「**負けは弱さの証明ですか？君達にとって“負け”は試練なんじゃないですか？**

地に這いつくばった後、また立って歩けるのかという。

君達がそこに這いつくばったままならば、それこそが弱さの証明です。」

このセリフを聞いて、娘の中で何かが変わったみたいです。「**次、頑張るわ…**」とつぶやいたそうです。

テストの点数

私は長年、中学校教師として多くの生徒たちの進路に携わってきました。残念ながら**高校入試は「点数」で合否**を決めます。ですので、中学 3 年生にもなると毎月あるテストの点数が気になり、不安定になる生徒も少なくありません。

「**数字**」は**とても明確ではっきりしたものです**。しかし、その「**見えるもの**」にこだわってしまうと気持ちが落ち着かず、勉強もなかなか手につかないこともあります。ですので、私は生徒たちに「この点数は他人と比べるものではなく、**自分の努力**の点数なんだよ。どれだけ自分で頑張れたかの評価なので、一生懸命やったのに 50 点だったら、その教科に対する自分の一生懸命は 50 点で、まだ一生懸命が足りない。もしくは方法が半分間違っていたのでは？と思わないで。**一生懸命努力するって他人が見ても分からないもの**のだから？そして形として表せない。**見えない努力に見える点数にするには本当に大変**なんだよ。」と言ってきました。

そして保護者には「点数＝本人の頑張りです。ですので、点数だけを見て評価せずに、本人の努力を見てあげてください。そして努力する環境を作ってあげてください。」と言いました。結果だけを見られて評価されると誰でも腹が立ちます。

5 教科合計約 150 点の生徒がどうしても進学したい学科があり、中学 3 年生の 4 月に相談を受けました。その日から毎日小学校 3 年生からの漢字と算数の問題集をノートにさせました。その生徒は受験の前日まで休むこともなくノートも 10 冊以上使って毎日の課題をやり切ったのです。

結果は「合格」涙を浮かべながら報告しに来た彼の笑顔は忘れられません。だからと言って急に成績が上がった訳ではなく、高校でも同じように努力し、卒業。高校の先生方からも彼の**ひたむきな「努力」**を高く評価してもらい、良い就職先を紹介されたそうです。



ワールドカップサッカー、大リーグ…子どもたちに夢を届けてくれる世界トッププレイヤーたち。素晴らしい派手なパフォーマンスの裏には、だれにも負けない「**努力**」があるはずです。そして、それを支える「人」、「思い」、「環境」など様々な**見えない大切なもの**があるのです。